
ビッグ・フィッシュ

asakurahikaru

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ビッグ・フィッシュ

【Nコード】

N2050L

【作者名】

asakurahikaru

【あらすじ】

インターネットシップでやって来た女子大生の告白。

もう7年ぐらい経ったのでしょうか。

「ビッグ・フィッシュ」という映画を見に行こう。そう言ってBさんを誘ったことがありました。

Bさんは当時私が働いていた関西の会社に、関東の大学からインターンシップでやってきた女子大生でした。

年上の男ばかりの職場にもすぐなじんで、毎日楽しそうに働いてました。

職場の人たちと飲みに行っても、なんかノリがいいというか、いろいろ話が弾みました。

安藤忠雄の話をしたら興味を持ったらしく、休みの日に「光の教会」を見に行ったら、携帯から私のパソコンにメールを送ってきました。

そんな風にちょっと軽い感じだけど、とても行動力のある人でした。

2週間のインターンシップが終わり、彼女が関東に戻ってからも、メールのやり取りは続きました。

彼女の大学の近くに、たまたま会社の拠点があり、当時はよくそこへ出張していました。

Bさんを映画に誘ったのは、その時のことでした。

最初は例によってノリが良くて、いいですね行きましよう、とか言ってた彼女でしたが、約束した日が近付くにつれて、だんだん歯切

れが悪くなってきました。

いろいろ聞いてみると、実は付き合っている人がいるの、という話になりました。

さらにメールで何度かやりとりしてみると、実は彼氏と同棲してるの、実は彼氏は愛新覚羅さんより年上の人なの。などなど、まあいろんな話が飛び出して来ました。

大学に入学した時、Bさんは親元を離れてひとり暮らしを始めました。
でもひとり暮らしは何かとお金がかかりますし、彼女はまずバイトを始めることにしたそうです。

それはキャバクラでのアルバイトでした。
彼女が言うには、「おさわりもなく、普通のお店」だったとのことでした。

そのお店で、Bさんは「彼氏」と出会いました。

その男性はお店のお客さんで、学生のBさんとはずいぶん年が離れていました。幸いなことに独身で、普通のサラリーマンだったそうです。

二人はお店で何度か話すうちに親しくなり、やがて彼女はバイトをやめ、その男性と一緒に暮らすようになりました。

彼は年老いた母親と同居していたので、Bさんを含む3人での共同生活が始まりました。

誰にも言えない秘密ができたせいで、大学の友達を家に呼ぶこともできず、自然と疎遠になってしまったと言っていました。もちろん実家の両親にも、このことは内緒にしていました。

そしていつの間にか月日が経ち、Bさんは大学4年生になろうとしています。

彼女は言いました。

「学生生活というより、毎日がまるで主婦みたいな生活です」

でも別に結婚する気はないから、卒業したら大学院に進学して、その後はどこかの会社に就職したい、とのことでした。

Bさんはこんな調子でしたが、ただ困ったことに、男性のほうは本気だったみたいです。

彼女が大学を卒業したら、すぐ結婚したいとでも思っていたのか、家の建て替えをはじめたとのことでした。

それで今日は彼と一緒にシステムキッチンを見に行きました。そんなメールが送られてきたこともありました。

当時の私にとって、はつきり言って理解不能な話でした。

その後もしばらく彼女の言動に振り回され、私は疲れてしまいました。

それで私はBさんのメールを、自分から一方的に切ってしまいました。

数ヶ月経ったある日、Bさんから久しぶりにメールが届きました。内容は何ということもない、ただの近況報告でした。

彼女も淋しかったんでしょか。

私は黙ってそのメールを削除しました。

短い期間でしたが、いま思うとBさんは、いろんな意味で、私の人生にインパクトを与えてくれた気がします。

彼女のことがかきっかけで、女の子がいる夜のお店にも出かけるようになりました。

そういうお店に行くと、確かにBさんのように、年上の男性とも気軽に話せるノリの良い女の子達がたくさんいました。

いつか彼女が言ってました。

「たったの数ヶ月でしたが、あのお店でアルバイトしたことを、私は一生後悔し続けると思います」

ちなみに「ビッグ・フィッシュ」という映画は、まだ見たことがありません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2050/>

ビッグ・フィッシュ

2011年1月15日23時40分発行